

## 宇野港フォトコンテスト2014 入賞作品講評

賞名	タイトル	氏名	講 評
最優秀賞	また来てねー	米田 喜六	子供達の可愛らしい仕草が、雨上がりの水たまりに反射したアングルから、船出をする大型客船の姿、そしてデッキに出ている人々をバランス良く、そしてタイミング良く捉え、旅情を誘うと共に、別れの寂しさをも感じさせる優れた作品になっています。
優秀賞	昼下がり	石原 一夫	二人の女性の間をフェリーが横切る瞬間を狙って演出した作品です。女性達の屈託の無い笑顔が、明るい雰囲気作りにも貢献しています。まさに旅行を楽しんでいるかのようです。スクエア(正方形)のトリミングを採用し、左右をカットしても良かったように思います。
優秀賞	夜明けの詩	白神 佐代子	朝焼けに染まる港を背景に、釣り人が浮かび上がると共に、丁度画面中央部分に鳥をタイミング良く捉えています。はっきりとした狙いの下で撮影された作品です。
特別賞	宇野港暮色	崎谷 正信	夕景の宇野港に、タイミング良く4隻の船が、それぞれ異なった方向に、そしてタイミング良く捉えられており、非常に計算された作品になっています。恐らくは、この様な写真は再び撮ることは出来ないだろうと思います。
特別賞	お・も・て・な・し	松本 實則	訓練船を迎える可愛い子供達の、一所懸命さが、子供達だけではなく、先生の仕草からも見て取れます。演奏が聞こえてくるような作品です。もう少しだけ、左側をトリミングするとよりまとまりのある構図になったと思います。
特別賞	船員さんとおしゃべり	中田 康之	子供達と船員との楽しい会話、今にも聞こえてきそうな風景です。このほほえましいシーンをタイミング良く捉えています。些か、左右に間延びした印象があるので、大胆にトリミングしても良かったと思います。
特別賞	放課後のVenus	横山 朋子	女子高校生の終わることの無い会話を、夕刻がせかしているようです。穏やかな日常を旨く捉えています。周囲がやや広く捉えられているので、もう少しトリミングすると、より女子高校生が見えてくると思います。
特別賞	色彩	中村 祐太	瀬戸内海にある宇野港の穏やかな海面に浮かび上がった光の反射を旨く捉えています。非常に穏やかな雰囲気なので、もう少し動きのある要素を取り入れるか、画面右側をトリミングして水面をテーマとしても良かったと思います。
特別賞	護衛艦入港	堀 小夜子	後ろの護衛艦と手前の男女が、全く関係が見られないギャップが、逆にとても印象的でユニークなものとなっています。様々なお話を想像することが出来る作品になっています。画面左側と上部をもう少しトリミングすると良かったと思います。
入選	海へ激走	齋木 良夫	ズームインの効果を活かした作品です。ズームイン以外に動きのある要素が加えられるなど、もう一工夫あるとさらにユニークさを増したものとなったと思います。
入選	艦船見学盛況なり	伊豫 久人	遠景から望遠レンズを使い、絞りを有効に使って空間を圧縮した作品で、画面手前と左奥の船もタイミング良く捉えられています。その一方で、些か画面が窮屈な感じとなっているので、もう少し空間とのバランスが取れると尚良かったと思います。
入選	華やく港	高見 靖子	長時間露光を旨く使い、大輪の花火と共に、フェリーが移動していく光跡を捉えています。美しく仕上がっているのですが、少し説明的となっているので、もう少し大胆にトリミングして、花火と船のバランスを取ると良かったと思います。
入選	乗って見たいね	難波 猛志	可愛い少女の姿越しに大きな護衛艦を捉えています。子供達の会話も聞こえてくるようです。もう少し広い画角を持たせて、より気味で撮影すると、少女達と船との心理的距離感も捉えられたのでは無いでしょうか。
入選	訓練支援艦「くろべ」満艦電飾	武下 信夫	電飾で彩られた護衛艦の姿が、夕闇迫る港に美しく映えている作品です。画面が右側に間延びしているので、もう少しトリミングを行って、光のコンセプトに徹すると、尚良かったと思います。
入選	優美	中戸 勝美	海上保安庁の船からの美しい放水を捉えています。まとまりのある構図に仕上がっていますが、まとまりすぎてあまり動きが感じられなくなっています。絞りを開けて背景をぼかす、あるいは縦構図の採用で、大胆に仕上げて良かったかもしれません。
入選	めで鯛!	見藤 哲男	宇野港に設置された巨大チヌ(クロダイ)のオブジェの前で、花嫁さんの記念写真撮影の様です。タイトルはしゃれが効いていますが、レンズ焦点距離やアングルをもう少し工夫すると、より狙いがはっきりしたのでは無いでしょうか。